

平成28年度全国学力・学習状況調査 (H28.4.19実施)

1 全国学力・学習状況調査の実施状況について

(1) 調査の目的

ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

ウ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

(3) 調査内容

○ 教科に関する調査（国語、算数・数学）

※ 主として「知識」に関する問題（A）

※ 主として「活用」に関する問題（B）

○ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

※ 児童生徒に対する調査

※ 学校に対する調査

2 伊方町における調査結果の公表について

(1) 公表の趣旨

学力や学習状況の調査結果について、学校・家庭・地域のみんながその情報を共有し、学力向上のためにどうしていけばよいかを検討して指導改善等に取り組んでいく。

(2) 留意事項

ア 「9年間の学びを見通した教育の創造」の町統一テーマの下、小学校・中学校の連携による取組を重視する。

各中学校区ごとの地域を一体的にとらえて取り組む。

イ 教科に関する調査や児童生徒質問紙調査は、レーダーチャート等で表示し、実態把握や分析、改善策を検討していく。

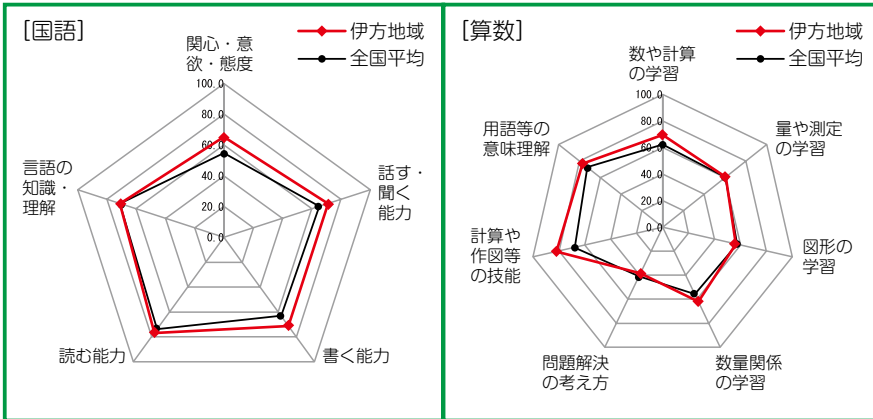
ウ 点数等の数値表示、一覧表の作成、順位づけはしない。

平成28年度全国学力・学習状況調査における調査結果 【伊方地域】

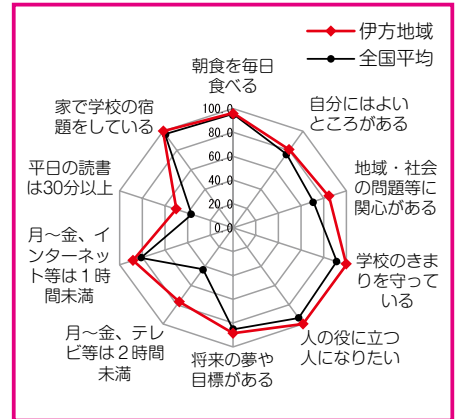
○教科に関する調査（全国の平均正答率との比較）

○児童生徒質問紙調査
（全国の平均回答率との比較：肯定的な回答）

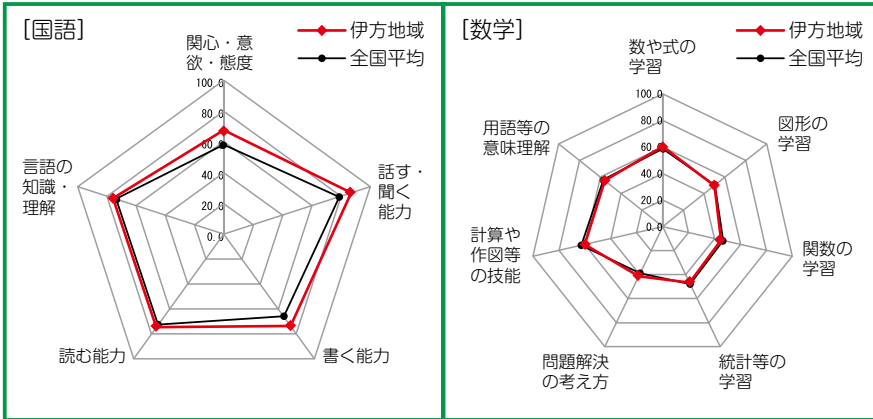
<小学校>



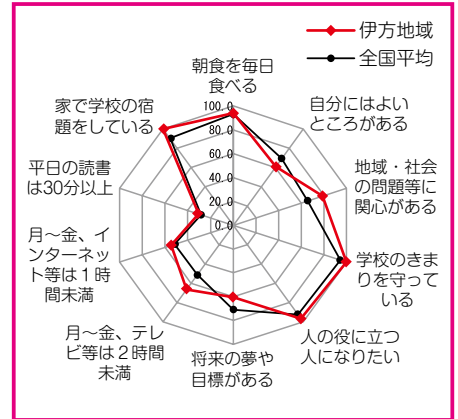
<小学校>



<中学校>



<中学校>



結果の分析

《小学校》

- 国語・算数ともに、全国平均をやや上回っている。国語の「関心・意欲・態度」と算数の「計算や作図等の技能」は、特によい傾向にある。
- 児童生徒質問紙調査では、どの項目も全国平均を上回っている。以前からの課題であった「自尊感情」の項目は、全国平均を上回り、改善が見られた。また、「学校のきまりを守る」「人の役に立ちたい」「宿題をする」の項目は、肯定的な回答が100%である。

《中学校》

- 国語は、どの項目も全国平均をやや上回っている。特に「関心・意欲・態度」と「話す・聞く能力」がよい傾向にある。数学については、全国平均とほぼ同じである。
- 児童生徒質問紙調査では、「地域・社会の問題への関心」「テレビ視聴」「学校のきまりを守る」「宿題をする」の項目で肯定的な回答率が全国平均を大きく上回っている。「自尊感情」「将来の夢」の項目では、やや下回っている。

具体的な取組

《小学校》

- 各教科の中で、時間を意識させて書く活動や要約する活動を積極的に取り入れる。
- ICT機器を積極的に用いることにより、学ぶ意欲をより高めるとともに、図形の学習等に効果的に活用する。
- 話し合いや自分の考えを発表する機会の充実を図り、問題解決力の向上を図る。

《中学校》

- 数学の基本的な力を活用して、計算や作図などの技能をさらに伸ばす指導を図る。
- 一人一人のよさを認め、夢や目標をもった学校生活を送るために、特別活動等の充実を図る。

《小中共通》

- 習熟度別学習やワークシート等の工夫をし、個に応じた手立てを講じる。
- 家庭と連携し、携帯電話やゲーム機器等の使用時間制限等の取組を充実させ、家庭学習や読書の時間を確保する。

改善方針

《小学校》

- 読み取る力をさらに伸ばすための指導の工夫を図る。
- 授業改善や家庭学習の推進等、学力向上の取組の継続と充実を努める。
- 算数の図形の学習や問題解決学習の充実を努める。

《中学校》

- 数学の基礎基本の力をさらに伸ば

し、活用能力の向上に努める。

- 自尊感情を高める指導、将来の夢や目標を持たせる指導等、キャリア教育の充実を図る。

《小中共通》

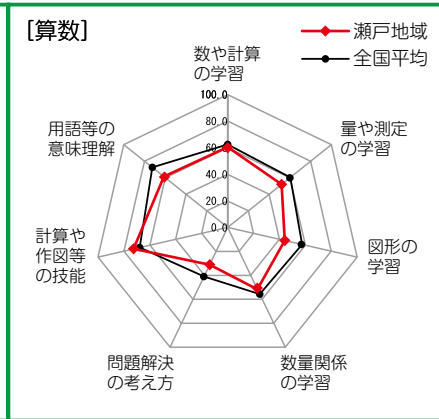
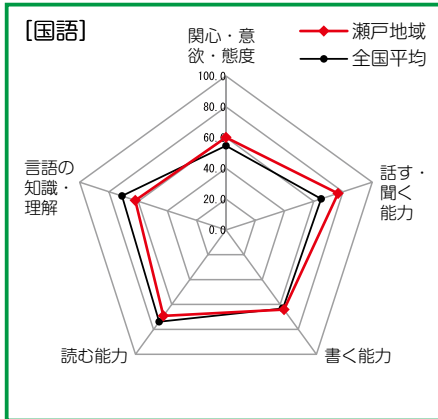
- 学力差の解消に努め、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
- 家庭との連携を図り、家庭学習の時間を確保する。

平成28年度全国学力・学習状況調査における調査結果 【瀬戸地域】

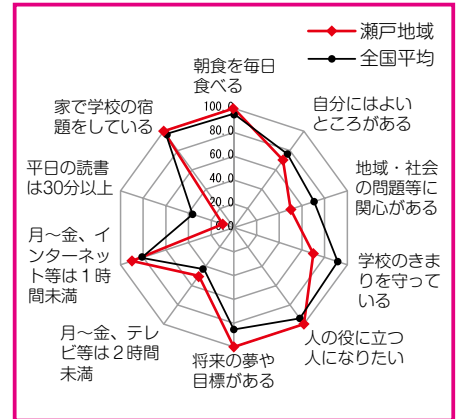
○教科に関する調査（全国の平均正答率との比較）

○児童生徒質問紙調査（全国の平均回答率との比較：肯定的な回答）

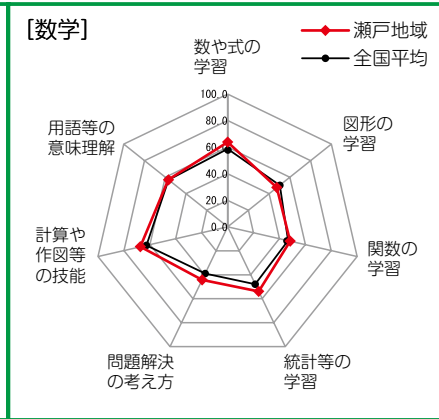
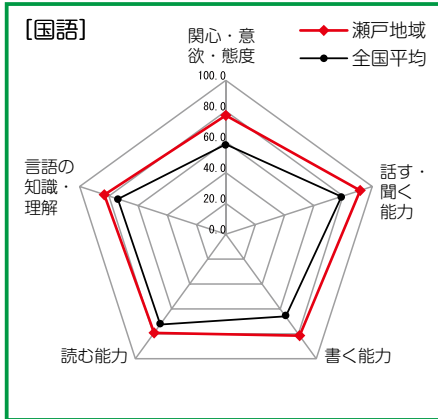
<小学校>



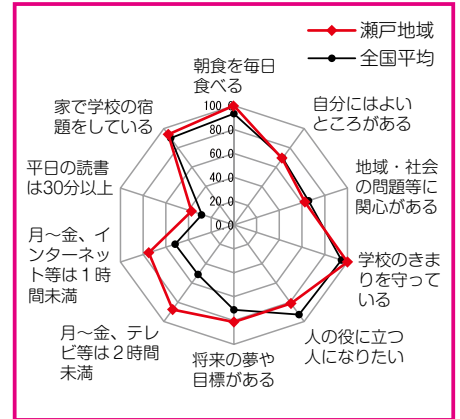
<小学校>



<中学校>



<中学校>



結果の分析

《小学校》

- 国語は、「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」は全国平均を上回っているが、「読む能力」「言語の知識・理解」は下回っている。
- 算数については、「数や計算の学習」「計算や作図等の技能」は全国平均と同程度であるが、他の項目は下回っている。特に「図形の学習」「問題解決の考え方」が低い。
- 児童生徒質問紙調査では、「平日の読書の時間」の項目がかなり低く、新聞を読む児童が少ないなど、活字離れがうかがえる。

《中学校》

- 国語は、すべての項目で全国平均を上回っている。
- 数学は、「数や式の学習」「計算や作図等の技能」の項目が、やや上回っており、他の項目はほぼ同じであった。基礎的な問題での誤答があり、基礎・基本の確実な定着に課題が残った。
- 児童生徒質問紙調査では、「基本的な生活習慣」や「きまりを守る」といった項目は全国平均より上回っているが、「自分にはよいところがある」「人の役に立ちたい」などの項目が下回っている。

改善方針

《小学校》

- 「言語の知識・理解」を高める指導を行うこと、「読む能力」を伸ばすための授業改善・読書活動の充実を図る。
- 基礎・基本の定着を図り、「問題解決の考え方」を高める指導を工夫する。

《中学校》

- 基礎・基本の定着を図る取組を今

で以上に充実させる。

- 個別指導やグループでの学習を充実させる。

《小中共通》

- 保護者との連携を密にし、望ましい学習習慣や生活習慣を身に付けさせる。
- 達成感・達成感を味わわせて、自尊感情を高めるための取組を行う。

具体的な取組

《小学校》

- 学習したことを復習する時間を確保し、ドリルや短文などに取り組みせることにより言語能力を高める。
- 基礎的な問題の小テストや身に付けた知識・技能を活用する問題のテストを定期的実施し、学力の定着を図る。
- 平日の読書の時間を設定したり、読み聞かせをしたりして読書に親しませ、多様な文章に触れさせることで読解力を育成する。

《中学校》

- 各教科で小テストを継続して実施し、基礎・基本の定着を図る。
- 少人数のよさを生かし、個別学習を大切にするとともに、小グループや集団での学習の充実を図る。

《小中共通》

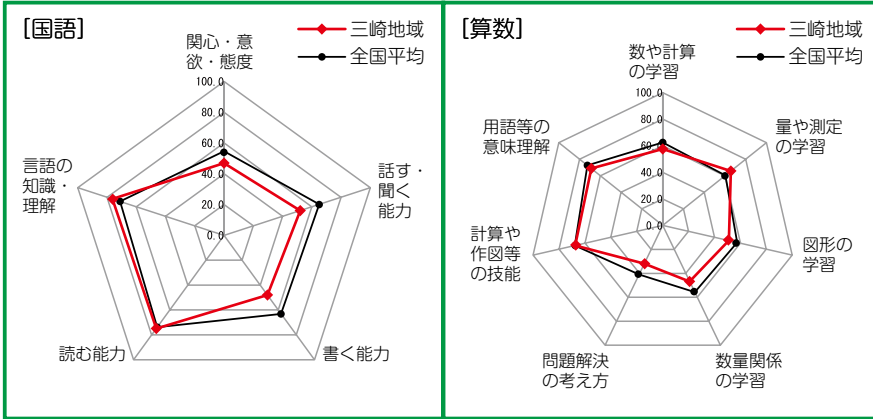
- 健康観察や生活リズムチェック、家庭学習調査などを定期的に行い、望ましい学習習慣や生活習慣の確立を図る。
- 学校行事や日々の活動において、体験的な学習を多く取り入れて、達成感・達成感を味わわせ、自尊感情を高める。

平成28年度全国学力・学習状況調査における調査結果 【三崎地域】

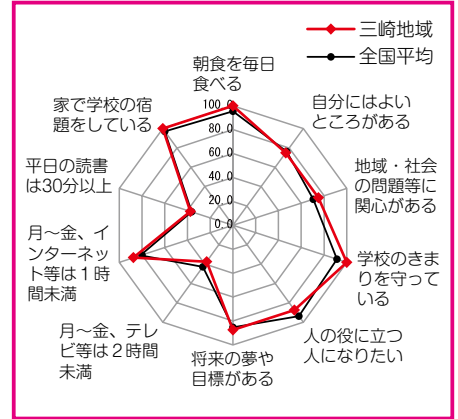
○教科に関する調査（全国の平均正答率との比較）

○児童生徒質問紙調査
（全国の平均回答率との比較：肯定的な回答）

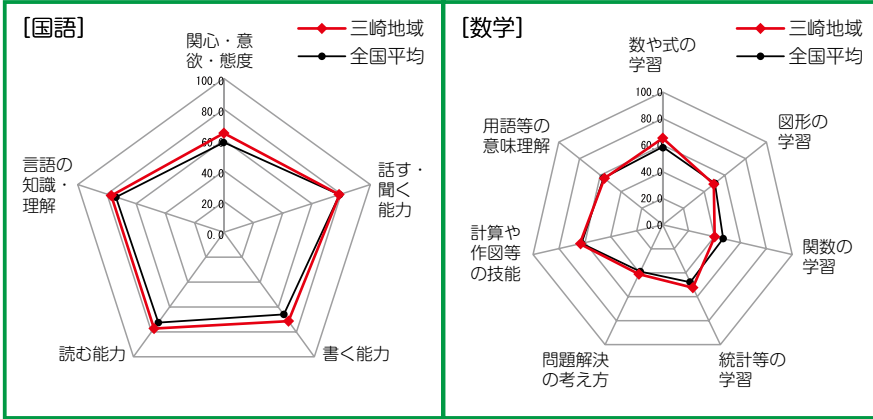
<小学校>



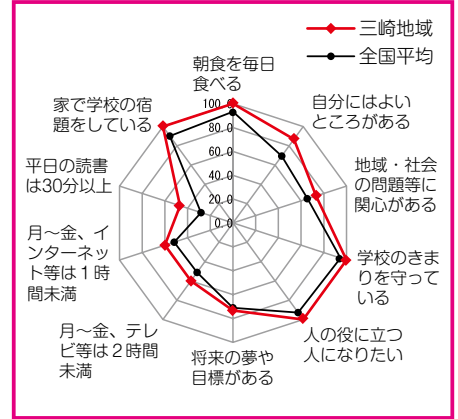
<小学校>



<中学校>



<中学校>



結果の分析

≪小学校≫

- 国語は、「言語の知識・理解」「読む能力」以外は全国平均を下回っている。特に、「書く能力」は、大きく下回っている。
- 算数は、「量や測定の学習」「計算や作図等の技能」以外は全国平均を下回っている。
- 児童生徒質問紙調査では、ほとんどの項目で全国平均と同程度である。

≪中学校≫

- 国語は、全体的に全国平均を上回っている。
- 数学は、全体的に全国平均と同程度であるが、「関数の学習」についてはやや低い。
- 児童生徒質問紙調査では、すべての項目で肯定的な回答が全国平均を上回っている。

具体的な取組

≪小学校≫

- 国語・算数の基礎的・基本的な事項について的小テストを、計画的かつ継続的に行う。
- 問題解決のために、絵や図を用いて説明し、互いに考え方を交流し合う。

≪中学校≫

- 5教科における基礎定着テスト（小テスト）を計画的かつ継続的に行うとともに、保護者とも連携して家庭学習の充実を図る。
- 電子黒板（デジタル教材）の活用や学習形態の工夫等により、楽しく分かる授業を心掛けるとともに、個別指導の充実に努める。
- 学習委員会を中心に読書の呼び掛けを行い、本に対する興味・関心を高める。

≪小中共通≫

- テレビやインターネット等の時間の削減に向け、家庭学習の手引きや家庭学習カードの有効活用を図る。
- 小中のつながりを大切にし、道徳の時間や児童会・生徒会活動、学校行事等の取組を通して、児童生徒一人一人の自尊感情を高める。

改善方針

≪小学校≫

- 各教科において、言語活動の充実を図る。
- 算数的活動を通して、「数量関係の学習」や「問題解決の考え方」の基礎的・基本的技能の定着を図る。

≪中学校≫

- 個別指導の充実により、基礎・基本

の定着を図る。

- 読書指導の充実に努める。

≪小中共通≫

- 望ましい学習習慣や生活習慣の確立に向けて、保護者との連携を強化する。
- 自尊感情を高めるための取組を見直し、具体的かつ効果的な活動の場を工夫する。